

高齢社会と介護保険に関する調査 (介護支援専門員アンケート)

アンケート調査へのご協力をお願い

介護支援専門員の皆様には、日ごろから行政へのご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、現在、加古川市では、高齢者福祉のいっそうの充実と介護保険制度の円滑な実施に向けて、高齢者福祉計画と介護保険事業計画の見直しを行っております。

このたび、この計画の見直しの基礎資料とするため、介護支援専門員の皆様にアンケート調査を実施することになりました。

皆様にご回答いただいた内容につきましては、この調査の目的にのみ使用するものであり、ご回答の内容を調査目的以外に使用したり、個人情報に他へ漏れるなど、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年2月

加古川市長 岡田康裕

【ご記入に関してのお願い】

1. このアンケートの対象者は、加古川市内で働いておられる居宅介護支援専門員の皆様です。
2. この調査は、令和2年1月1日現在の状況をお答えください。
3. ご記入いただいたアンケートは、2月25日(火)までに、加古川市高齢者・地域福祉課までご持参もしくは、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。
4. この調査についてわからないことがありましたら、下記へご連絡ください。

加古川市役所 福祉部 高齢者・地域福祉課
電話:079-427-9715
FAX:079-421-2063

1. アンケートを記入される人についておたずねします。

問1 あなたの性別を教えてください。(○はひとつ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 令和2年1月1日現在のあなたの年齢を教えてください。(○はひとつ)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問3 介護支援専門員としての経験年数を教えてください。(○はひとつ)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 | 3. 3年以上5年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 5. 10年以上 | |

問4 あなたが介護支援専門員以外に持っている資格を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1. 看護師 | 2. 介護福祉士 | 3. 社会福祉士 |
| 4. 精神保健福祉士 | 5. 特になし | 6. その他() |

問5 あなたが現在働いている事業所の運営形態はどれですか。(○はひとつ)

- | | | |
|---------------|-----------|----------|
| 1. 社会福祉法人 | 2. 医療法人社団 | 3. NPO法人 |
| 4. 株式会社・有限会社等 | 5. その他() | |

問6 あなたが現在働いている事業所の種類はどれですか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 居宅介護支援事業所 | 2. 地域包括支援センター |
| 3. 小規模多機能型居宅介護事業所 | 4. 看護小規模多機能型居宅介護事業所 |
| 5. その他() | |

問7 あなたが現在働いている事業所にあなたを含めて何人の介護支援専門員がいますか。

_____人

2. ケアプラン作成についておたずねします。

問8 令和2年1月分のケアプランを何人分作成しましたか。(○はひとつ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 5人未満 | 2. 5人以上10人未満 | 3. 10人以上15人未満 |
| 4. 15人以上20人未満 | 5. 20人以上25人未満 | 6. 25人以上30人未満 |
| 7. 30人以上35人未満 | 8. 35人以上 | |

問9 問8で回答した人数のうち、介護予防ケアプランを何人分作成しましたか。(○はひとつ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 5人未満 | 2. 5人以上10人未満 | 3. 10人以上15人未満 |
| 4. 15人以上20人未満 | 5. 20人以上25人未満 | 6. 25人以上30人未満 |
| 7. 30人以上35人未満 | 8. 35人以上 | 9. 作成していない |

問10 ケアプランを立てるにあたり、生活機能の状態のほかに、どのようなことに気をつけていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 本人の意見を大事にすること | 2. 家族の意見を大事にすること |
| 3. 要介護状態の改善、もしくは悪化の防止 | 4. 生活背景 |
| 5. サービス利用にかかる経済的な負担 | 6. その他() |

問 11 介護支援専門員として利用者に関わる中でどのようなことに困りましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族との連絡調整	2. 家族が精神疾患あり
3. 身寄りのない人の金銭管理	4. キーパーソンがいない
5. 経済的に困窮している	6. 介入の拒否
7. サービス導入拒否	8. その他 ()

問 12 介護支援専門員として必要な知識をどのように得ていますか。
(○は3つまで)

1. 同じ事業所の介護支援専門員から	2. 同じ法人の介護支援専門員から
3. 同業者の知り合いから	4. 地域包括支援センターが実施する研修
5. 介護支援専門員協会が実施する研修	6. 行政(市・県等)への問い合わせ
7. 介護保険関係の解釈本等	8. その他 ()

問 13 災害時に備えて担当している利用者に対してどんなケアが必要か考えたことはありますか。
(○はひとつ)

1. ある →問 14 へ	2. ない →問 15 へ
---------------	---------------

※問 13 で「1. ある」と回答した人におたずねします。

問 14 災害時、介護支援専門員として担当している利用者に対してどんなケアが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 緊急連絡先(親族・隣人等)の把握	2. 避難時携行医薬品についての情報提供
3. 避難所生活で介助に必要な支援の把握	4. 安全確保
5. 避難する場所とその避難方法の伝達	6. 避難所生活に必要な物品の確保
7. 災害時に備えた避難訓練	8. その他 ()

※全員におたずねします。

問 15 (加古川市内における)下記のサービスの充足状況をどのように思うか、サービス毎に記入してください。

サービス種別	充足感									
	足りて ない	やや 足りてない	ある程度 足りている	足りて いる	わから ない					
① 訪問診療(医師の訪問)	①	1	—	2	—	3	—	4	—	5
② 訪問介護	②	1	—	2	—	3	—	4	—	5
③ 夜間対応型訪問介護	③	1	—	2	—	3	—	4	—	5
④ 訪問入浴介護	④	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑤ 訪問看護	⑤	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑥ 訪問リハビリテーション	⑥	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑦ 通所介護(デイサービス)	⑦	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑧ 地域密着型通所介護(定員18名以下の通所介護)	⑧	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑨ 認知症対応型通所介護	⑨	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑩ 通所リハビリテーション(デイケア)	⑩	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑪ 小規模多機能型居宅介護	⑪	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑫ 短期入所(ショートステイ)	⑫	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑬ 医師や薬剤師などによる療養上の指導(居宅療養管理指導)	⑬	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑭ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	⑭	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑮ 看護小規模多機能型居宅介護	⑮	1	—	2	—	3	—	4	—	5

		足りて ない	—	やや 足りてない	—	ある程度 足りている	—	足りて いる	—	わから ない
⑯ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	⑯	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑰ 介護老人保健施設	⑰	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑱ 介護医療院	⑱	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑲ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	⑲	1	—	2	—	3	—	4	—	5
⑳ 特定施設入居者生活介護	⑳	1	—	2	—	3	—	4	—	5
㉑ 有料老人ホーム	㉑	1	—	2	—	3	—	4	—	5
㉒ 軽費老人ホーム（ケアハウス）	㉒	1	—	2	—	3	—	4	—	5
㉓ サービス付き高齢者向け住宅	㉓	1	—	2	—	3	—	4	—	5
㉔ 養護老人ホーム	㉔	1	—	2	—	3	—	4	—	5

問 16 介護保険サービス以外にあれば良いと思うサービスは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------|------------------|----------------|
| 1. ゴミ出し | 2. 安価な輸送サービス | 3. 入院中の買い物支援 |
| 4. 通院の付き添い | 5. 緊急時に受け入れ可能な施設 | 6. 認知症の人の見守り支援 |
| 7. その他（ | ） | 8. 特になし |

問 17 介護保険サービス以外のサービスを紹介したことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 配食サービス | 4. 傾聴ボランティア |
| 2. シルバー人材センターのサービス（草引き、家事援助、買物など） | 6. その他（ |
| 3. 民間のサービス（見守り、家事援助など） | ） |
| 5. 金銭管理を支援するサービス | |
| 7. 紹介したことがない | |

問 18 介護保険サービス以外の情報をどのように得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 市が発行している冊子など | 2. 地域包括支援センター主催の研修など |
| 3. 市や地域包括支援センターに相談 | 4. インターネット |
| 5. 介護支援専門員間の口コミ | 6. その他（ |
| 7. 特に得ていない | ） |

問 19 あなたは、ケアプランに関して悩んだときなどに、だれに相談することが多いですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 県 | 2. 市 |
| 3. 地域包括支援センター | 4. 地域の連絡会・勉強会 |
| 5. 職場の上司・同僚 | 6. 職場外のケアマネジャー |
| 7. 相談できるところがない | 8. 相談していない |
| 9. その他（ | ） |

3. 医療機関との連携状況についておたずねします。

問 20 退院支援や調整をする中でどのようなことに困りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 退院調整のカンファレンスが開かれなかった
2. 病院からの説明が十分でなかった
3. 知りたいことが十分に聞けなかった
4. 急に退院が決まり、在宅での受け入れ準備を十分にできなかった
5. 本人、家族への説明が十分にされていなかった
6. 病院職員が、あまり介護保険サービスのことを理解していない
7. その他 ()

問 21 病院における退院前カンファレンスが開催される時には、参加していますか。(○はひとつ)

1. 必ず参加している
2. ほぼ参加している
3. 時々参加している
4. 参加していない

問 22 退院時に、病院の主治医または連携担当者(地域連携室など)と円滑な連携がとれていますか。(○はひとつ)

1. 十分にとれている
2. ある程度とれている
3. あまりとれていない
4. とれていない

問 23 利用者の病状や健康状態について主治医と連絡をとっていますか。(○はひとつ)

1. とっている
2. ときどきとっている
3. ほとんどとっていない

問 24 あなたが医療機関(主治医)との連携が必要だと思われるケースでは、実際に医療機関(主治医)と連携が図れていますか。(○はひとつ)

1. 全く連携が図れていない →問 25 へ
2. あまり連携が図れていない →問 25 へ
3. ある程度連携が図れている →問 26 へ
- 4.十分に連携が図れている →問 26 へ
5. 医療機関(主治医)と連携が必要なケースは少ない →問 26 へ

※問 24 で「1. 全く連携が図れていない」、「2. あまり連携が図れていない」と回答された人におたずねします。

問 25 連携が図れていない主な理由は何ですか。(○はひとつ)

1. 時間に余裕がない
2. 医療機関の協力が無い
3. アプローチの仕方がわからない
4. 個人情報の保護の問題
5. 窓口がわからない
6. その他 ()

※全員におたずねします。

問 26 利用者の服薬管理などについて薬局(薬剤師)と連携が図れていますか。(○はひとつ)

1. 全く連携が図れていない →問 27 へ
2. あまり連携が図れていない →問 27 へ
3. ある程度連携が図れている →問 28 へ
- 4.十分に連携が図れている →問 28 へ
5. 薬局(薬剤師)と連携が必要なケースは少ない →問 28 へ

※問 26 で「1. 全く連携が図れていない」、「2. あまり連携が図れていない」と回答された人におたずねします。

問 27 連携が図れていない主な理由は何ですか。(○はひとつ)

1. 時間に余裕がない
2. 薬局(薬剤師)の協力が無い
3. アプローチの仕方がわからない
4. 個人情報の保護の問題
5. 薬局(薬剤師)の在宅医療への理解が低い
6. その他 ()

※全員におたずねします。

問 28 医療機関と連携を図るために必要なことは何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 医療関係者と介護関係者の情報交換の場の確保 (相互の顔の見える関係づくり) |
| 2. 地域ケア会議の充実・機能強化 |
| 3. 在宅療養者の情報を共有するための統一的な様式の作成 |
| 4. その他 () |

4. 市・地域包括支援センターなどとの連携状況についておたずねします。

問 29 地域包括支援センターと連携していますか。(○はひとつ)

- | | | |
|-----------|------------------|------------|
| 1. 連携している | 2. 十分ではないが連携している | 3. 連携していない |
|-----------|------------------|------------|

問 30 市や地域包括支援センターと連携するときにはどのような場合ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 多くの問題を抱えている利用者への対応 | 2. 苦情相談の対応 |
| 3. 介護保険以外のサービス制度の対応 | 4. その他 () |

問 31 困難事例などを地域包括支援センターに相談したことがありますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 32 地域包括支援センターにどのような役割を期待していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 業務全体に対するスーパーバイズ | 2. 困難事例に対する助言・支援 |
| 3. サービス担当者会議の開催支援 | 4. 専門性向上のための研修の開催や研修情報の提供 |
| 5. ケアプラン作成指導などを通じたケアマネジメントの指導 | |
| 6. 介護支援専門員同士のネットワークの構築 | |
| 7. 関係機関のネットワークの構築 | 8. その他 () |

問 33 今後市に期待する役割は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 相談機能の充実 | 2. 研修機能の充実 |
| 3. サービス基盤の充実 | 4. 情報提供の充実 |
| 5. その他 () | |

5. 高齢者虐待についておたずねします。

問 34 家庭内における高齢者虐待の事例を経験(担当)したことがありますか。(○はひとつ)

- | |
|----------------------|
| 1. ある |
| 2. ない |
| 3. 虐待を疑う事例に出会ったことがない |

問 35 今までに高齢者虐待を疑う事例に出会ったとき、市や地域包括支援センターへ相談(通報)しましたか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. はい →問 37 へ | 2. いいえ →問 36 へ |
|---------------|----------------|

※問 35 で「2. いいえ」と回答された人におたずねします。

問 36 相談(通報)しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 利用者や家族との関係悪化を避けたかった | 2. 家族の問題なので介入してはいけないと思った |
| 3. 自分で解決できると思った | 4. 市や地域包括支援センターに期待していない |
| 5. その他 () | |

※全員におたずねします。

問 37 高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか。

(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 相談窓口の設置・明確化 | 2. 関係機関のネットワーク強化 |
| 3. 対応マニュアルの作成 | 4. 介護者への援助の充実 |
| 5. 住民への啓発 | 6. 関係機関や職員への研修 |
| 7. 緊急一時保護施設の確保 | 8. 日常生活自立支援事業 |
| 9. 成年後見制度への積極的な取り組み | 10. 警察・司法との連携・介入 |
| 11. 家族介護者を対象とした介護相談の充実 | 12. その他 () |

6. 認知症高齢者への支援についておたずねします。

問 38 認知症高齢者への支援において、困っていること(困ったこと)はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. サービス利用などの契約手続きができない | 2. サービスの受け入れ先が限られる |
| 3. サービスの利用拒否、受診拒否 | 4. 本人の暴言や暴力がある |
| 5. 金銭管理(認知症による物取られ妄想や消費者被害、支援者がいないなど) | |
| 6. 徘徊や緊急時の対応が困難 | 7. 家族の理解がない、理解が薄い |
| 8. 地域の理解がない、理解が薄い | 9. その他 () |

問 39 認知症高齢者への支援で必要なことはどのようなことだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. 認知症の家族を介護している人のための介護教室や家族サロンの開催 | |
| 2. 医療的な支援(認知症の進行に合わせた適切な指導、助言) | |
| 3. 認知症についての正しい知識を持った支援者の養成 | |
| 4. 認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動 | |
| 5. 介護保険などの公的サービスの充実 | 6. ボランティアなどの公的サービス以外の充実 |
| 7. 成年後見制度の利用促進 | 8. 市民後見人の育成 |
| 9. 認知症全般について相談できる窓口 | 10. 地域住民の理解 |
| 11. その他 () | |

問 40 今後、認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1. 認知症への市民理解を深めるためのサポーター養成講座や講演会の開催 | |
| 2. 介護者のつどいの充実 | |
| 3. 相談会の充実 | |
| 4. 認知症の人の介護、対応方法など介護者向けの研修会の開催 | |
| 5. 医療・介護・地域が連携した早期発見・早期治療のしくみづくり | |
| 6. かかりつけ医に対する研修 | |
| 7. 認知症の人を見守るボランティアなどのしくみづくり | |
| 8. 認知症対応型グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備 | |
| 9. 若年性認知症に対する支援 | |
| 10. その他 () | |

問 41 加古川市では、認知症の人や家族を支援するために、市内の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置していますが、知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 42 加古川市では、認知症の基礎知識や認知症の人への接し方を学ぶ「認知症サポーター(*)養成講座」を開催していますが、知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

*認知症サポーター

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族をあたたく見守る応援者であり、認知症サポーター養成講座を受講した人のことです。講座修了者にはサポーターの証「オレンジリング」を授与します。講師役である認知症キャラバン・メイトを派遣し、企業や学校等で講座を開催していますが、平成24年度から子ども向け講座に力を入れており、小学校や中学校においても積極的に開催しています。

問 43 加古川市では、地域で認知症の人を見守るため、行方不明になる可能性のある人を日常から見守り、早期発見・早期保護するための「見守り・SOSネットワーク(*)」を実施していますが、知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

*見守り・SOSネットワーク…行方不明のおそれのある認知症高齢者の所在が不明となった場合に、身近な地域で協力して高齢者を見守っていく取り組みです。

居住地の担当地域包括支援センターで事前登録し、万一、所在不明となった場合に関係機関へ情報提供されるなど、早期発見・早期保護のため有効に活用されます。ただし、範囲が限られますので加古川警察署への捜索願の届出も必要です。

問 44 認知症の人とその家族、地域の人など誰もが気軽に集える場としての認知症カフェ(*)を知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

*認知症カフェ…認知症の人やその家族だけではなく、地域住民、医療や介護の専門職など、誰もが気軽に参加でき、情報交換や日頃のちょっとした悩みなどを相談する「集いの場」で、地域の団体が主体となって運営しています。医療や福祉の専門職なども参加する場合がありますので、普段聞けないことを気軽に相談することもできます。

加古川市では、認知症カフェの一覧表を市のホームページに掲載しています。また、認知症カフェを運営している地域の団体に対して、運営に要する経費の一部補助を行っています。

7. 成年後見制度についておたずねします。

問 45 成年後見制度について制度の概要を知っていますか。(○はひとつ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 知っている |
| 2. 既に利用している |
| 3. 名前は聞いたことはあるが、概要はわからない |
| 4. 知らない |

問 46 あなたの担当している利用者で日常生活自立支援事業(福祉サービス利用支援事業)や成年後見制度を利用されている人はいますか。
(すべてに人数を記入してください)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 日常生活自立支援事業を利用している (人) |
| 2. 成年後見制度を利用している (人) |
| 3. 両方利用している (人) |
| 4. 利用(把握)していない (人) |

問 47 成年後見制度を利用することとなった動機は何ですか。
(すべてに人数を記入してください)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 財産の管理、預貯金の払い出しや解約、保険金の受領 () 人) |
| 2. 遺産分割協議 () 人) |
| 3. 裁判所の手続き(相続放棄、訴訟、調停、自己破産等) () 人) |
| 4. 交通事故の示談など () 人) |
| 5. 不動産処分 () 人) |
| 6. 身上監護 () 人) |
| 7. その他 () 人・その他の理由 _____) |
| 8. 利用(把握)していない () 人) |

問 48 あなたの担当している利用者で既に成年後見制度を利用している人を除き、制度を利用したほうが良いと思われる人はいますか。(すべてに人数を記入してください)

- | |
|---------------------|
| 1. 利用したほうが良い () 人) |
| 2. 利用しなくてもいい () 人) |
| 3. 判断できない () 人) |

問 49 問 48 で利用したほうが良いと思う理由はなんですか。(すべてに人数を記入してください)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 日々の金銭管理に困っている () 人) |
| 2. 介護保険契約、施設入所契約ができない () 人) |
| 3. 適切な医療が行えない () 人) |
| 4. 訴訟手続きを抱えている(将来的なものも含む) () 人) |
| 5. その他 () 人・その他の理由 _____) |

問 50 成年後見制度を利用すべきであるが、利用に至らない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 申立て手続きが煩雑で、利用までに時間がかかる |
| 2. 制度の利用等について本人や親族と協議ができていない |
| 3. 制度の利用について親族の同意を得られない |
| 4. 制度を利用するタイミングがわからない |
| 5. 申立人になる人がいない |
| 6. どこに相談していいかわからない |
| 7. 別のサービス、制度利用などにより対応できている
(具体的なサービス、制度名 _____) |
| 8. その他 (_____) |

8. 介護や看取りについておたずねします。

問 51 在宅での生活を続けるために必要なことはどのようなことだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 住み慣れた地域にあるデイサービス（通い）を利用しながら、必要に応じてなじみの職員が訪問したり短期の宿泊ができたりする多機能型の施設 |
| 2. 住み慣れた地域にある認知症高齢者に対応したデイサービス（通い） |
| 3. 夜間や早朝の他、必要なときに対応してもらえるホームヘルプサービス（夜間の定期的な巡回訪問を受けることができる介護サービス） |
| 4. 訪問看護師との連携 |
| 5. 身近な場所での転倒・骨折予防の体操などができる場 |
| 6. 健康や生活に関する講話や相談ができる場 |
| 7. 家族、近隣住民などの理解、協力 |
| 8. 介護保険サービスではないが、有償ボランティアなどによる生活支援（買い物やゴミ出しなど） |
| 9. 身近な場所にある相談窓口 |
| 10. 介護者のための介護教室、交流会などの介護者の支援 |
| 11. 段差解消や手すりの取り付けなど自宅のバリアフリー化 |
| 12. その他（ |
| 13. わからない |

問 52 要介護者が最期をむかえる場所として、どのような場所がふさわしいと考えていますか。

(○はひとつ)

- | |
|---|
| 1. 自宅（子どもの家など親族の家を含む） |
| 2. 介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、グループホーム） |
| 3. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅 |
| 4. 病院（療養病床を含む） |
| 5. 考えていない |
| 6. わからない |

問 53 在宅での看取りに関わった経験がありますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 54 在宅で看取りをするために連携できる医師がいますか。(○はひとつ)

- | | | |
|-------|--------|----------------------|
| 1. いる | 2. いない | 3. 看取りの経験がないため、わからない |
|-------|--------|----------------------|

問 55 あなたは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP、人生会議)(*)について、知っていますか。

(○はひとつ)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. よく知っている | 2. 聞いたことはあるがよく知らない |
| 3. 知らない | |

* アドバンス・ケア・プランニング(ACP、人生会議)

…人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また、繰り返し話し合う「アドバンス・ケア・プランニング(ACP、人生会議)」が重要と言われています。

問 56 このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 賛成である | 2. 反対である |
| 3. わからない | |

問 64 もし、家族や医療介護関係者等の方と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思いますか。(話し合ったことがある人は、何がきっかけでしたか。)

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 誕生日 |
| 2. 結婚 |
| 3. 自身または配偶者の妊娠や出産 |
| 4. 自分の病気 |
| 5. 退職 |
| 6. 還暦 |
| 7. 家族等の病気や死 |
| 8. 人生の最終段階についてメディア(新聞・テレビ・ラジオ)から情報を得たとき |
| 9. 地域包括支援センターや医療関係者、介護サービス事業者による説明や相談の機会を得たとき |
| 10. その他() |

問 65 あなたは「かこリンク」を知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

* かこリンク

…高齢者の在宅での生活を支えるため、「1市2町在宅医療・介護連携支援センター(かこリンク)」を設置し、病院の地域連携室の医療ソーシャルワーカーやケアマネジャーの相談に応じたり、情報ツール(バイタルリンク、マップシステム)による情報共有・情報提供をしたりしています。

問 66 あなたは「在宅医療・介護連携支援事業」として、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 専門職による相談支援 |
| 2. 地域の医療や介護の資源に関する情報提供 |
| 3. 在宅医療と介護の関係者間の情報共有 |
| 4. 在宅医療及び介護関係者への研修 |
| 5. 市民に対する在宅医療や介護に関する情報の周知啓発 |
| 6. その他() |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

**アンケートは2月25日(火)までに、
同封している返信用封筒で返送もしくは、高齢者・地域福祉課までご持参ください。**